

仲田杯ハンド

那覇西ク連覇

女子レキオク3年ぶりV

ハンドボールの仲田豊順杯争奪第9回クラブトーナメント最終日は24日、八重瀬町の東風平運動公園体育館で行われ、男子是那覇西クラブが沖繩クラブを35-27で下し、2連覇を決めた。女子はレキオクラブが

那覇西クラブに27-17で勝利し、3年ぶりの優勝を果たした。

【男子】
▽準決勝
那覇西ク 49 | 25 名護ク
沖繩ク 26 | 25 B I C

▽決勝
那覇西ク 35 | 18 | 15 | 12 | 27 沖繩ク
【女子】
▽決勝
レキオク 27 | 14 | 13 | 7 | 10 | 17 那覇西ク

迫力、個人技 見せ場存分

那覇西ク

○：男子の那覇西クは序盤から終始優位に試合を進める。友利彬彦とクロスのス

めた。

「見ている人が楽しめるプレーをみんなが心掛けている」（前川辰憲）という通り、宮平淳司らフローター陣が強烈なロングシュートで迫力を見せては、背後へのパス出しなど個人技でも会場を沸かせた。

20代前半の若手が加入し、チームが活気づいていることも強さを支えている。

レキオクラブの久しぶりの県内大会優勝をけん引したのはエースの佐久川かおりだ。

国内最高の日本リーグでのプレー経験もあるベテランは、得点シーンを演出するラストパスを持ち味にしてきたが、この日はパスだけでなく、自ら強引にシュートに持ち込む新たなプレースタイルで得点を積み上げた。これまでは「接触プレーが嫌で、どちらかというパスを出すことが多かった」と打ち明ける。ことし7月、千葉国体の県選抜に入ると、ポイントゲッターの資質を見いだしていた東江正作監督から「縦を突いてシュートを打つこと」について徹底指導を受け、10月の国体で勘どころをつかんだ。

ハイライト

競技歴23年目の新境地に「こんなに簡単に点が取れるんだ」と打ち込む佐久川がマークを受ければ、足が武器の赤峯真樹子が速攻でかき回し、左利きの伊良波梨沙が滞空時間の長いフォームから豪快に決めて突き放した。

東江監督は「守りはもともと良いので、攻撃をしっかりとできるかどうかが鍵だった。それぞれがやっとなりて力を出せるようになってきた」と、攻撃力を増したチームの成長に満足顔だった。（新垣和也）

カイプレーを決めた安谷屋 うと話して機会を待ってビッグプレーの成和希は「直前に2人でやろ。作戦通りにできた」とと笑みがこぼれた。



男子決勝 那覇西クラブ-沖繩クラブ
クラブの東恩納淳司(田盛良一撮影)
デیفフェンスをかましシュートを決める



女子決勝 那覇西クラブ-レキオクラブ
8得点を挙げる活躍でチームをけん引するレキオクラブの佐久川かおり
24日、八重瀬町の東風平運動公園体育館(田盛良一撮影)

佐久川新境地 8得点